

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ カタール・ドーハ日本人学校 ] 担当教諭名 [ 荒尾 敏雄 ] ( 小学部1・2年 17名 )  
 交流相手国 [ オマーン ]  
 海外学校名 [ Shumoo' a Al-Marifa ] 担当教諭名 [ Shaima Ahmed ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	図工	表し方を工夫して、表現に込めた思い	6
	生活科	オマーンの子どもたちと交流しよう	13
	総合	アラビア語、英語を使って伝えよう	6

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本の文化とオマーンの文化
絵に込めたメッセージ	日本の文化のよさをオマーンの子どもたちに伝えたい。また、自分たちも相手の国の文化を知り、理解を深めたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
同じアラビア半島の国にあるオマーンと交流できたことにより、アラブの文化をさらに知ることができた。また、日本の文化についての学習もこちらにある教材を活用することで進めることができた。	子どもたちは、普段学習している英語、アラビア語を使って、相手校の生徒とフォーラムを使って、コミュニケーションを取ることができた。しかし、相手校とTV会議ができなかったことが課題である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
子どもたちには、日本とオマーンの文化の比較のみならず、今住んでいるカタールの文化との比較もさせたので、大変興味をもって取り組んでいた。カタールとここが違うとか、同じであるとか、文化を比較する視点をもつようになった。	オマーンとカタールの文化を比較して考えることができた。同じアラビア半島にある国でも、文化の面で共通点や相違点があることがよく分かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	10月	アートマイルプロジェクトについての説明を行う。	オマーンとの交流を楽しみにし、自己紹介カードを書いて送りたいと積極的に活動するようすが見られた。	生活科
テーマ学習	10月 11月	オマーンの文化について調べる。 カタールの文化について調べる。 日本の文化について調べる。	校外学習と関連付けて調べ学習を進めた。	生活科 総合
構図決定	11月	自己紹介や学校紹介、絵のテーマについて伝え合い、お互いの文化を紹介することにした。	子どもたちは生活科の学習と関連付けて描く内容を決め、グループに分かれて下書きを描いた。	生活科
壁画制作	12月	壁画の制作を始める。 相手校の生徒が本校に来校し、直接出会って交流会をすることができた。	みんなで協力して、絵を描くことができた。	図工 生活科
鑑賞・振り返り	3月	生活科の時間に交流会の振り返りと絵の鑑賞をした。	全校児童生徒に見てもらい全員で鑑賞をした。相手校の絵がとても上手であり、オマーンのことをよく知ることができた。	生活科

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	児童は日本の文化とカタールの文化について調べることができた。
異文化の理解	A	5	フォーラムを使って、オマーンの特産物や衣装など、質問をすることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	アラビア語の簡単な表現、英語を使ってコミュニケーションをとることができたが、時間は十分ではなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	児童は、iPadを使ってよく調べることができた。教師による情報発信(学校HPを使って)はよくできた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	TV会議ができなかったため、直接話し合うことができなかったが、フォーラムで頻繁にやりとりができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	絵を描く際には、協力し合う姿がよく見られた。
学習を追究する意欲	A	5	日本とカタールの文化、オマーンの文化について進んで調べることができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	時間をかけて制作したので、とても素晴らしい絵が完成した。
作品を鑑賞する力	A	5	全校児童生徒で絵を鑑賞することができたのがよかった。オマーン側の絵をじっくりと見て鑑賞することができた。